

令和7年度学校評価報告書

令和8年 3月 23日

北海道教育委員会教育長 様

北海道富川高等学校長 佐々木 雅 康

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します

1 本年度の重点目標

<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた学びを通し、自らの在り方・生き方を模索する生徒の育成 ・目標に向かって創意工夫し、粘り強く取り組む生徒の育成

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テストが定着し、基礎基本の向上が見られた。 ・ICTの活用を通して、個別最適な学習が進みつつある。 ・学習習慣が少しずつ定着している。 <p>【自己評価 B】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導に対する工夫について評価するが、生徒の主体的な学習や学習意欲に個人や学年の差がある。 ・学習に向かう意欲に格差がある中、生徒に学習意欲を持たせるのは難しい。 <p>【学校関係者評価 A】</p>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テストの実施にあたり、指導と評価の一定化に向けての校内研修を行う。 ・ICTのより一層の活用を図り、生徒の学習に向かう意欲を高める。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生の集団作りにピアサポートを導入し、計画的に実行することで高校生活を良好にスタートすることができた。 ・個別の支援を必要とする生徒について、関係機関とのネットワークを作ることができた。 <p>【自己評価 B】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に適応できる人材育成のために、地域や小中学校との交流・協働が重要であり、協力していきたい。 ・学校全体の落ち着きを感じる、今後は生徒の主体的な行動を促す指導を期待する。 <p>【学校関係者評価 A】</p>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導における協働学習と集団・人間関係づくりの一体化に向けた検討・研究を行う。 ・スクールカウンセラーや関係機関とのより機能的な連携の仕方について検討を行う。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路実現に向けた講習や模擬試験など計画的に実施できた。 ・外国籍生徒の就職・進学の手続きや制度について整理することができ、新たな民間就職先を開拓できた。 <p>【自己評価 A】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進路に関する情報提供がていねいに行われている。 ・進路実現に向けて、個別にていねいな指導があり、進路結果に結びついている。 ・探究学習が進路結果に結びついている。 <p>【学校関係者評価 A】</p>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年からの計画的な進路学習により、動機づけやモチベーションを高める。 ・外部機関との連携により、進学や就職に関する情報提供を進める。 	
公表方法	自己評価の結果を学校運営協議会で報告し、結果を web ページで公表する。	

評価A:3.25～4.00 評価B:2.75～3.24 評価C:2.00～2.74